

## 令和5年度入学式式辞(令和5年4月6日)

例年になく早い春の訪れ、いつもならばもう少し遅く満開を迎える桜も今を盛りにと咲き誇っています。明るい日差し、薄緑に膨らむ山の麓、柳の若葉、それらすべてが、新たな環境でこれから大きく成長していくであろう若者たちと重なると共に、その門出を祝福しているように感じます。本日、この良き日に、親師会長 西澤啓介様、副会長 土田直久様、副会長 今井進太郎様のご臨席を賜り、保護者の皆様と共に、新潟県立長岡高等学校の令和五年度入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、心から厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可しました普通科240人、理数科81人の新入生の皆さん、入学おめでとう。心からお祝いいたします。また、保護者の皆様、お子様の入学の晴れ姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

さて、長岡高校は、「米百俵」の精神を受け継ぎ、明治5年に創立した長岡洋学校を起源とし、150年以上の歴史を誇る全国屈指の伝統校です。新入生の皆さんも、この長岡高校で学べることを誇りに思っていたきたい。

長岡高校には、脈々と受け継がれている伝統精神があります。一つ目は「剛健質樸」、その意味は、身体は強くたくましく、心は素直に正直に、二つ目は「豪爽快活」、その意味は、気性は大きくさっぱりと、行いは明るく元気よく、三つ目は「和而不同(和して同ぜず)」、その意味は、人と仲良くしながらも、自分を考えや生き方を大切にすること。皆さんには、諸先輩が築いてきた伝統の重みをしっかり理解し、長岡高校の生徒であることを自覚し、毎日の学校生活をしっかりとした姿勢で過ごしてほしいと願っています。

現在の長岡高校は、先日、県教育委員会が策定した各県立学校のスクールミッションにもあるように、先ほどの伝統精神のもと、「人格高潔で人間的魅力に富み、世界を舞台に指導的役割を果たす人材の育成」を目指しています。そして、これを実現するため、本校では、本物に触れる機会の充実を通して生徒の視野を広げさせ、チャレンジする精神を育てると共に、一人一人が真に入りたい大学・学部合格できるよう支援をしていきます。その具体の一つが、文部科学省の指定を受け取り組んでいるスーパーサイエンスハイスクール事業です。皆さんの学年からは、これまでの取組をさらに発展させた第Ⅳ期スーパーサイエンスハイスクール事業を展開していきます。皆さんの進路実現、自己実現を図る上でも大変有効で魅力的な取組みでもあります。皆さんも積極的にチャレンジしてください。期待しています。

入学式にあたり、新入生の皆さんに、特に意識して欲しいことを2つお話します。

1つ目は、「自ら進んで、意識して」ということです。長岡高校に入学し、3年間を過ごすうちに、学力や体力、優れた人格が自然に、自動的に身につくではありません。自ら求めていかなければ身につきません。勉強も部活動も各種の行事も、自ら積極的に真剣に取り組んで下さい。そして、授業中、それ以外、校内、校外を問わず、立ち居振る舞い、言動など、長岡高校の生徒であることを常に意識して過ごしてください。

2つ目は、「出会いを大切に」ということです。

長岡高校は県内屈指の大規模校で、県内各地から集まった多くの生徒が在籍しています。また、皆さんを指導する教職員も多くいます。部活動に入れば他校の生徒とも出会いますし、スーパーサイエンスハイスクールの取組みや行事を通して、校外の様々な方々と出会います。

新入生の皆さん、ここで生まれる多くの出会いを楽しんでください。そして、出会いの中で望ましい人間関係を学び、作り上げていきましょう。ただ、これから多くの人と出会い、関わるにあたって忘れないでほしいことがあります。人との関わり方を学ぶわけですから、失敗することもある、ということです。人の失敗を責めないで、お互いに温かく受け止めてください。多くの出会いと、多くの失敗の中で、相手の気持ちを理解できる感性と受け止める心の強さを育て、共同して生きていくことができる立派な大人になりましょう。

さて、本日の栄えある入学式に際し、保護者の皆様方にも一言お願い申し上げます。本日以降、私たち教職員一同、気持ちも新たに、この場に臨んでいる新入生の夢と希望を叶えるべく、全力を挙げて指導して参ります。保護者の皆様におかれましても、生徒たちを温かく見守り、一人の大人として自立していけるよう、皆様の力を十分に発揮していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

結びに当たり、本日の入学式に、御多用の中、ご臨席賜りました皆様方に改めて感謝と敬意の気持ちを捧げ、式辞といたします。

令和5年4月6日

新潟県立長岡高等学校長  
鈴木 勇二